

パナソニック松愛会『会議規定第6条』により、支部大会の議案内容を事前に確認していただくため、滋賀だよりに付帯して全会員に送付します。以下の第1号議案～第4号議案を確認してください。ご意見やご質問がある場合は、5月15日までに最寄りの支部役員または支部専用メール(shiga@shoai.ne.jp)にご連絡をお願いします。皆さんのご意見を踏まえて役員会で議案の決議を行い、結果は5月21日開催の支部大会で報告することといたします。なお、ご連絡がない場合はご承認いただいたものとしてお取り扱いさせて頂きます。

2023年度（第27回）支部大会議案書

〈第1号議案〉◆2022年度 支部活動経過報告

〔1〕活動の総括

2022年度は、松愛会設立50周年（滋賀支部結成25周年）の記念すべき節目の年度でした。本部からの記念行事助成金などの支援があり、全会員参加の抽選会をセットにした記念支部大会や、他支部会員参加型の琵琶湖クルーズの旅など記念行事を実施することができました。またコロナ感染状況も徐々に落ち着きを取り戻し、中止を余儀なくされていた一部の行事を復活できた一年となりました。

〔2〕支部行事や同好会等の活動実績

- 二年間中止を余儀なくされてきた支部行事を、3年ぶりに復活再開できました。（）は参加者数
【支部大会(116)】【新春懇親会(83)】【健康ウォーク＆琵琶湖クルーズ(98)】【女性会員懇親会(15)】
【75歳節目セミナー(65)】【65歳節目交流懇親会(41)】
- 同好会活動も平常を取り戻し一層活性化された一年となりました。開催実績は以下の通りでした。

同好会	ゴルフ	グラウンドゴルフ	湖の辺歩こう会	フォトウォーク	硬式テニス	パソコン	囲碁将棋	麻雀	湖東湖北GG	合計
実施回数	5	8	9	3	46	9	12	12	9	113
延べ参加人数	240	144	183	64	419	85	128	156	59	1,478

- 昨年同様、80歳以上の会員を対象に動静を把握するための友愛活動に取り組みました。抽選会をセットしたアンケートハガキは好評でした。またご家族との連携を密にすることことができました。

〔3〕社会貢献の取り組み

- プルタブの回収量は512kg／年間でした。通算27台目の車いすを栗東市に贈呈することができました。
- 琵琶湖環境保全活動ボランティアに、草津ヨシ刈り9名、西の湖ヨシ刈り6名が参加しました。
- 「あかりアクション（古本回収）」の運動推進に課題を残しました。次年度はPR面での工夫を検討します。

〔4〕広報活動の取り組み

- ホームページに「行ってきました」コーナーを開設し、会員からの投稿が増えるようになりました。

〔5〕会員動向

※入会者が前年度より19名減少しました

(2023年3月末現在)

会員数（年度末）	新入会員	転入	転出	退会	ご逝去
1,570名（対前年：△12）	26名	6名	7名	3名	34名
お祝い計	白寿	米寿	喜寿	金婚	結婚
153名	0名	18名	74名	60名	1名

〈第2号議案〉◆2023年度 支部活動方針と計画

〔1〕基本の考え方

新型コロナウィルス感染症はその沈静化に鑑み、令和5年5月8日から季節性インフルエンザなどと同じ5類に変更されることになりました。厳しい規制からようやく解放されますが、今後とも衛生面での注意は怠らないようにしましょう。滋賀支部は本年度を『活動全面的復活の年』にできるよう取り組んでまいります。会員の皆様の積極的なご参加とご支援をお願いします。

〔2〕主要な取り組み

- 《全体行事》 第27回支部大会（5月）と令和6年新春懇親会（1月）を開催します。
- 《友愛活動》 80歳以上会員を対象にした友愛活動は、昨年同様に郵便によるアンケートはがきと抽選の組み合わせで対象会員が楽しめる取り組みを進めます。
- 《親睦活動》 親睦・懇親は松愛会の大切な活動です。本年度はコロナ禍以前まで行われていた支部活動を全面的に復活できる年にするべく努力します。具体的には、笑愛サロン・女性懇親会・65歳節目交流会・日帰りバス旅行・納涼会・ボウリング大会の行事を開催します。
(行事と同好会の実施計画はP6の日程表をご参照ください)